

キャラクター名
荒木 夜彦 (あらき よるひこ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー ノイマン		ワークス	探偵	カヴァー	探偵
オプション			年齢		性別	
覚醒	探求	衝動	飢餓	初期侵食率	28	%
出自	名家の生まれ	経験	親友	邂逅	ビジネス	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	3		調達	3	
運転:	2		芸術:	4		知識:			情報:	3	
運転:			芸術:			知識: 植物	3		情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
かけがえのない逸品	
コネ: 警察官	
コネ: 研究者	
コネ: 要人への貸し	
コネ: 専門家 (コンピュータ)	
コネ: 噂好きの友人	
コネ: コーポレート	
コネ: 裏社会	
コネ: 手配師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
触媒	P	N		
誓約女傭クリスティン・マッケンジー	P 信頼	N 偏愛		
怪盗ラスティ・ネイル	P 好奇心	N 無関心		
"拳王"羅武	P 友情	N 偏愛		
"リヴァリアサン"霧谷雄吾	P 好意	N 無関心		
異世界	P 好奇心	N 不信感		
犯罪	P 執着	N 偏愛		

最大財産P: 8 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
天性のひらめき	3	4	メジャー					
効果:	あらゆる能力値判定および技能判定に組み合わせることができる。その判定のC値を-[Lv(下限値7)]する。ただし、このエフェクトは戦闘中は使用できない。							
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身	意志		
効果:	すべての〈情報:〉の代わりに使用して、情報収集判定を行える。この時、情報収集判定のダイスを+Lv個する。							
弱点看破	4	3+1	メジャー	視界	単体	交渉		
効果:	そのラウンドの間、対象が行う攻撃の攻撃力を+[Lv*3]する。							
アドヴァイス	1	4	メジャー	視界	単体	交渉		
効果:	次に対象が行うメジャーアクションのクリティカル値を-1(下限値6)し、その判定のダイスを+Lv個する。							
鮮血の奏者	3	4	セットアップ	視界	単体			
効果:	使用時にLv点以下の任意のHPを消費する。そのラウンドの間、対象が行う攻撃の攻撃力を+[消費したHP*3]する。							
ブラッドリーディング	★							
効果:	血や体液からその人物の情報を得る事が出来る							
暗号解読	★							
効果:	暗号を解読できる							
写真記憶	★							
効果:	目にした事を細かく記憶する							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

大事件を専門に活動する私立探偵。同時にブラム=ストーカーとノイマンのシンドロームを持つオーヴァードでもある。探偵業はオーヴァードとなる以前から行っており、異能無くして実現しえない犯罪を立証する為にオーヴァードの存在を突き止め覚醒したと言う稀有な経緯を持つ。犯罪に美意識を持つ人物で、巧みなトリックや心理的盲点を突いた犯罪をこよなく愛する。探偵業もそういった事件と向き合う機会を得るために行っており、決して正義感や名欲からの行動ではない。むしろ思考回路は犯罪者に近く、犯人の杜撰なミスを見つけては「私ならこうする」「隠蔽が甘い」などダメ出しし、逆に感心したトリックを見た際はやたら犯人を誉め切ったりする。「自分さえ真相を解けないような完全犯罪」と出会う事が彼の最大の望みで、興味の魅かれた犯罪には自分から首を突っ込みたがる。野次馬根性もいいところだが、しっかり事件を解決するので大目に見られている。犯罪のある種の舞台として捉えており、事件を解決する際は「探偵役」として派手な推理演出を取る事を好む。また「犯人役」には最後まで自分の推理に食い下がる事を望んでおり、早々に自白したり迂闊な失言で自爆した場合はレネゲイドが暴走するレベルで切れる。

基本的には冷静沈着かつ紳士のな性格で、如何なる状況の前にも余裕を持った態度で挑む。これは彼が普段から「探偵」という役を演じているからであり、食事の時もダンスの時も、周囲の様子を細かく観察している。一方で、妙なタイミングで感情が昂る事もあり、その際はレネゲイドが一時的に暴走し狂人じみた発言をする事も。

交友関係は広く浅く、親友と呼べる相手は少ない。彼自身も他人とは一定の距離を取っており、だからこそ数少ない親友を大切にしている。その時一番の友人には「ワトソン君」と渾名をつけ、自分の捜査状況を語ったり、他人には口にしない弱音を吐く事も。結論としては、他人を引っ張っていく頭脳と他人を振り回す行動力を併せ持った変人である。

オーヴァードとしての戦闘能力は決して高くなく、主に味方のサポート役に徹する。味方の攻撃に合わせて挟撃したり、助言を授けたり。戦闘という舞台に置いては、彼はあくまで裏方である。